

一筆啓上

作左通信



2007.5.10
第35号

家康行列・ふるさと賞・総会 今年もスタート



晴れ渡った晴天の中、今年も四月八日(日)に「家康行列」が行われました。

すつかり恒例となった作左の会の行列参加も今年で三年目を迎えました。本多作左衛門重次を中心とし、総勢二十一名が出陣しました。作左衛門には、畔柳伽乙留さんが扮し、参列者は、法被を着て、お馴染みの緑ののぼりを持ち、満開の桜咲く伊賀川を出発しました。

のメンバーに声をかけていただいたり、「西部学区」の活動としても、広く知っていただくことができました。

たくさんの人波の中、「一筆啓上火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」という有名な手紙を紹介しながら、作左の会を、多くの市民へアピールすることができました。沿道からは、作左の会

四月二十八日(土)には、「ふるさと賞」の表彰式が行われました。この式も今年三回目となります。



参加数は年々増え続け、今年度は七三四もの作品が応募されました。作品は冊子としてまとめられ発行されました。応募される人の地区も広がりを見せ、六ツ美西部を中心に、六ツ美全地区、岡崎市全体からも広く応募されるようになりました。今年度の優秀作品を左に紹介します。続く総会では、小島資行会長のあいさつに始まり、今年度の会の活動方針が承認されました。和やかな懇親会も行われ、今年度の作左の会が発足しました。「心と文化の町おこし」が作左の会の合言葉です。

第3回ふるさと賞入選作品より

柵木 誠

痩せ細るお前を連れて帰ろうかお前の好きな花の咲く家に

市村春樹

新緑の枝をみつめて僕たちはまたひとつだけ大人になった

山本菜緒

なの花の色にそまつたじゆうたんを空から見たらきれいだろうな

清水健太

オオバコでひっぱりあつこ草がもう切れたら最後しりもちつくよ

近藤恵美子

本枯らしがアリアを唄ふビル谷間

関岡央真

春風は甘い香りの郵便や